

<沿革の概要>

昭11.4.1 柏木県下都賀郡栃木第四尋常小学校と称す。	平15.1.15 ソニー科学教育プログラム「奨励プロジェクト校」受賞
〃11.6.7 開校式（創立記念日）児童数681人	〃16.1.15 ソニー科学教育プログラム「奨励プロジェクト校」受賞
〃12.4.1 栃木市政施行により栃木市立栃木第四尋常小学校と改称する。	〃16.2.13 県理科研究展覧会・発表会最優秀賞
〃16.10.27 相撲場竣工	〃17.2.25 ビオトープ完成式
〃22.4.1 栃木市立栃木第四小学校と改称	〃17.5.1「環境のための地球学習観測プログラム推進事業校」に指定
〃22.9.3 給食室竣工	〃17.6.15 環境教育で「県優良校」の受賞
〃27.10.10 造築校舎落成	〃18.6.7 創立70周年記念行事
〃29.1.17 校地拡張竣工	〃20.4.1 栃木県研究PTA指定（2年間）
〃30.6.7 創立20周年記念式典	栃木市学力向上研究学校指定（3年間）
〃38.7.30 プール竣工	〃20.4.8 放課後児童会開設
〃43.4.1 特殊学級開設	〃23.1.10 体育館耐震工事完了
〃47.2.19 体育館竣工	〃25.2.15 ソニー子ども科学教育プログラム奨励校
〃47.4.1 学校保健統計調査で文部大臣賞受賞	〃26.2.14 栃木県理科研究発表会最優秀賞
〃52.4.1 新設校栃木市立南小へ165名分離	〃26.7~8月 校舎内1~3階東トイレ洋式化工事
〃58.4.25 市教委より児童指導研究指定	〃27~28年 日産財団理科教育助成の指定校
〃60.1.26 新校舎落成記念式典	〃27.8.31 教室エアコン設置工事完了
〃60.4.30 バックネット竣工	〃28.3.20 プール塗装部分補修工事完了
〃61.6.7 創立50周年記念式典	〃28.3.20 プール揚水ポンプ交換工事完了
〃63.10.27 校庭整地工事完了	〃28.11.21 創立80周年記念行事
平2.10.30 市指定同和教育研究公開発表	〃29.8.31 西トイレ改修工事完了
〃3.3.31 プール改修工事完了	〃30.11.3 東駐車場付近路面、北東門扉工事完了
〃4.2.25 県理科研究展覧会・発表会最優秀賞	〃元.10.30 体育館大規模改修工事完了
〃6.10.20 栃木県放送視聴覚教育研究公開発表	〃2.3.3 ビオトープ改修工事完了
〃7.2.16 県理科研究発表会 最優秀賞	〃2.3.16 門扉改修工事完了
〃7.4.1 いきいき地域ぐるみ教育活動・高齢者福祉教育・ボランティア活動普及事業研究指定（3年間）	〃3.1.6 会議室床改修完了
平8.6.1 創立60周年記念行事	〃3.12.24 東フェンス新設完了
〃9.11.13 県発明工夫展団体賞受賞	〃4.3.29 学童施設新設完了
〃10.4.13 創意工夫育成功労学校・科学技術長官賞受賞	〃5.9.20 事務室エアコン設置工事完了
〃10.2.21 給食棟完成	〃6.3.16 総合防災盤修理完了
〃14.5.21 プール塗装工事完了	

令和7年度 栃四小の教育



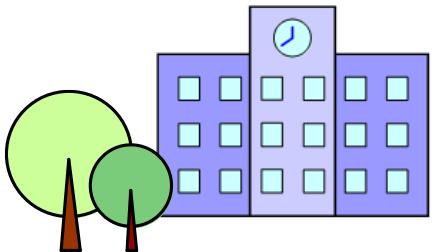
一 柏の葉しげる	希望豊かに	この庭に
ニ ゆかりも深き	正しく清き	はげみつ
昔をしのび	世のために	城あとに
新しき世を開くべき	みがかなん	めつめつ
広き力を養わん	城あとに	めつめつ

向上無限

-常に自分の夢に向かってチャレンジし学び続ける-

在籍児童数 R7.4.1 現在

学級	男子	女子	計	P会員
1年1組	22	11	33	20
2年1組	13	10	23	13
3年1組	24	11	35	31
4年1組	14	14	28	23
5年1組	17	18	35	34
6年1組	13	20	33	34
学習相談教室1組	4	2	6	6
学習相談教室2組	2		2	2
合計	109	86	195	155



職員構成

No.	職名	氏名	担当
1	校長	○	
2	副校長	○	
3	教諭	○	
4	教諭	○	
5	教諭	○	
6	教諭	○	
7	教諭	○	
8	教諭	○	
9	教諭	○	
10	教諭	○	
11	教諭	○	
12	教諭	○	
13	教諭	○	
14	教諭	○	
15	教諭	○	
16	教諭	○	
17	教諭	○	
18	教諭	○	
19	教諭	○	
20	教諭	○	
21	教諭	○	
22	学校事務	○	

氏名等割愛しております。

学校教育目標

元気な子 本気で学習する子 根気強い子 心の豊かな子

よく考えてやりとげる
子ども (知:頭づくり)
○自ら学ぶ意欲をもち、自ら
課題を見つけ考え、学んだこ
とを生かして、さらに深く考
え判断し、表現できる子ども
を育てる。

心豊かで思いやりのある
子ども (徳:心づくり)
○自らの感じ方、考え方を大
切に伸ばすとともに、思いや
りの心をもち、正しい行いが
できる子どもを育てる。

じょうぶでたくましい子
ども (体:体づくり)
○運動に親しみ、心身とも
に健康でねばり強い子ども
を育てる。

くめざす学校像（スローガン）>

いきいき子ども はつらつ先生 あったか家族に
たよれる地域 夢に向かう楽しい学校がここにある

栃木市立栃木第四小学校

〒328-0033 栃木県栃木市城内町1-3-15
TEL 0282-22-0512 FAX 0282-22-0548
e-mail:t4s01@tochigi-city.ed.jp
ホームページ <http://tochigi1.tcn.ed.jp/t-daiyonsho/>

令和7年度 学校経営計画全体構想図 栃木市立栃木第四小学校

本校教育の基本理念

向上無限

～常に自分の夢に向かってチャレンジし、学び続ける～

学校教育目標

元気な子 本気で学習する子 根気強い子 心の豊かな子

学校スローガン

いきいき子ども はつらつ先生 あつたか家族に たよれる地域 夢に向かう楽しい学校がここにある

目指す子ども像

- ★よく考えてやりとげる子ども（知）
- ★心豊かで思いやりのある子ども（徳）
- ★じょうぶでたくましい子ども（体）

目指す教職員像

- ★子どもを輝かせる教職員（指導方法の工夫改善）
- ★自らを磨く教職員（資質・指導力の向上）
- ★組織の力を生かす教職員（協力・協働・チーム）

南中プロック目指す子ども像

自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、
節度ある生活をする子

目指す学校像

- ★一人ひとりが輝く学校（切磋琢磨、自尊感情）
- ★安全で安心して過ごせる楽しい学校（危機管理）
- ★保護者・地域とともに信頼される学校（連携）

【みんなで力を合わせる学校・学年・学級づくり】

- 1 学校教育目標の具現化に向け、創意ある教育活動の計画的・継続的な展開に努める。
- 2 同僚性を軸とした協働体制のもと、教職員が主体的に参画する学校経営を実践する。
- 3 児童一人ひとりの自尊感情を高め、自己有用感が十分に味わえるような学年・学級経営を実践する。
- 4 地域とともに学校づくりを目指し、ボランティア活動等を通して地域の教育力を活用していく。
- 5 学校運営協議会やバザー実行委員会を核に、学校・家庭・地域の連携協働を進めていく。
- 6 個性を伸ばし、互いに認め合えるような人間関係が構築できるような教育環境をつくる。
- 7 学び合いを通して確かな学力を身に付け、生き生きと自ら学ぶ子どもたちの育成を図る。
- 8 個別応じた学びの充実を図るとともに、UD化や多様性・包摂性を意識した環境づくりに努める。
- 9 子どもたちにとって、学校が安全・安心に過ごせる場所であるように安全管理に努める。

学校経営の基本方針

学校教育目標具現化のための努力点

元気な子

1 体力向上に向けた指導の充実

- ・運動量のある体育の授業
- ・学校行事等の充実

2 健康づくりのための指導の充実

- ・早寝・早起き・朝ごはん
- ・「立腰」指導の充実
- ・保健指導・食育の充実

3 教育相談の充実

- ・ケース会議の実施
- ・関係機関との連携

4 安全・防災教育の充実と危機管理の徹底

- ・体験を重視した安全教室
- ・安全を意識した生活の実践と日常的な安全点検の徹底

本気で学習する子

1 学力向上を目指した指導の充実

- ・基礎学力の定着
- ・家庭学習の充実

2 主体的に取り組む意欲や態度の育成

- ・「どちらの学び」の実践
- ・問題解決能力の育成
- ・タブレット等の活用

3 思考力・判断力・表現力を高めるための指導の充実

- ・学び合いの充実・習慣化
- ・プログラミング教育の推進

4 一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実

- ・UD化に基づく環境づくりと授業構築【学校課題】
- ・特別支援教育の充実
- ・すくすくシートの活用

根気強い子

1 「めあて」達成のための指導・支援

- ・目標設定と振り返り評価の工夫

2 主体的に取り組む意欲や態度の育成

- ・主体的、実践的な態度を育成する場の設定
- ・特別活動の充実
- ・なかよし班活動等)

3 キャリア教育の充実

- ・環境学習の充実

4 ふるさとへの愛着を育む指導の充実

- ・集団の中で役割を果たすとする児童の育成
- ・人のためや社会のために貢献しようとする心の醸成

心の豊かな子

1 人権を尊重した望ましい人間関係の構築

- ・いじめや差別を許さない学級づくり

2 基本的な生活習慣の定着と積極的な児童指導の推進

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・明るいあいさつの習慣化
- ・決まりや約束を守る指導の充実

3 道徳教育の充実

- ・道徳の授業の充実
- ・実践力を高める指導

4 ふるさとへの愛着を育む指導の充実

- ・豊かな体験活動の充実
- ・地域教材の活用
- ・人との交流の推進

地域とともにある学校づくりの推進

【本校の教育活動】

I 学び合い

本校は、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けて児童同士の学び合いを大切にしてきた。学校課題の「自らよく考え、分かりやすく表現し、共に学び合う児童の育成～ユニバーサルデザインの視点を生かして～」に関して昨年度の反省を生かし、さらに深化を図っていく。また、市の研究指定を受けた人権教育をユニバーサルデザインの視点と重ねたうえでの推進にも努めていく。また、すべての基盤としての基礎学力の定着に注力することで、学力の向上を目指していく。



II 地域の教育力・外部組織との連携・協働



学校運営協議会を核にコミュニティスクールを推進し、アシストネット（学校支援ボランティア）の積極的な活用を図る。地域環境の授業活用や教材化、人材の発見・活用を推進する。また、地域社会への参画、貢献を、教科・領域との関連を図りながら推し進め地域とともにある学校づくりを目指す。



III なかよし班活動



全校児童を縦割りグループ（1年生から6年生までが所属するグループ）に分け、「なかよし班」を編制し、集会活動などで交流する活動を行う。「なかよし班」での共遊の時間を設けることで、異学年交流を推進し相互理解、仲間づくりを図っている。これまでの継続的な取組を通じ、全校児童は、非常に仲が良く、家族的な雰囲気と結束力をもった集団が形成されている。また、清掃活動も「なかよし班」で行っている。なかよし班の更なる活動の充実を図る。

IV 小中一貫教育



南中プロック小中一貫教育を推進する。令和6、7年度、市より「人権教育研究」の指定を受け、南中学校区の人権教育を通じた系統的な指導内容及び指導方法の実践研究を始めていく。目指す子ども像を「自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度ある生活をする子」との連動を踏まえ、取組を進めていくことで、さらに小中一貫教育を推進する。

V ICT活用

タブレット型PC、大型テレビなどの機器を積極的に授業で活用し、学習効果をあげる取組を実践してきた。今年度も一人一タブレット端末の活用、プログラミング教育の実践等、ICTの積極的な活用を進めていく。また、学年ごとの系統立てた自宅での活用も構築していく。

VI ビオトープの活用

校内にあるビオトープを活用し、水辺の植物や生物の生態を実際に観察することで自然に親しみ、興味や関心を高め、生活科や理科の学習に生かしていく。